

## 議会定数調査特別委員会アンケート結果

調査機関:各区长及び書記、3学校PTA役員、青年会・婦人会・老人会役員

回答件数: 77件 ※複数回答の回答件数合計が異なります。

### 問1. 現在の議員定数(10人)について

- |            |    |
|------------|----|
| 1. 少ないと思う  | 1  |
| 2. 妥当である   | 39 |
| 3. 多いと思う   | 17 |
| 4. どちらでもない | 22 |

【考察】「妥当である」は49%で、「どちらでもない」が28%、「多いと思う」が22%、「少ないと思う」は1%となっている。

### 問2. 問1で妥当であるに○印をつけた方の理由

- ・他町村の比較から見ても妥当である(6人回答)
- ・平成16年に定数減らしているのので、数年経過をみてもいいのではと思う。
- ・今のままで良いと思う。
- ・他の町村と比べると妥当だと思う。しかし、立候補者と議員定数が一緒に「無投票当選」になると村民の支持、理解を得るのは難しいのではと思う。また、立候補時の年齢70歳、75歳などの制限もあった方が良く思う。
- ・将来もっと人口減になる時に多いと感じると思うが、現時点では住民の声がまだまだ反映されていないことも多いので妥当だと思う。
- ・議員一人当たりの活動が少なくなった時に検討するべき。
- ・現状では、議員の皆さんは正当で活発な活動をしていると感じる。
- ・上記の理由から人口比で考えない。ただし、立候補者が少ないと事前に分かるなら検討すべき。
- ・人口により定数の増減が必要。
- ・削減した場合、賛成反対の意見が必ずしも村民の意見とは言えなくなる可能性が高くなると思う。
- ・今以上増やす必要はない。減らすと意見が偏ってしまいそう。
- ・各字1名以上は居た方が良く思う。
- ・多くても少なくても村民の意見を反映できないと思う。
- ・定数を減らし過ぎると意見に偏りが出てくる可能性があると思う。
- ・議会活動で言いたい事が言えなくなる。

- ・色々な意見が出たほうがいい。
- ・現在の人口規模や、より多くの意見を聴取するため
- ・議員定数の基準が分からないので現状でいいのかな？という積極的な理由です。
- ・10名の議員で仕事を割り振りして村の事について働いていると思うので、今のところ妥当だと思う。今後、村の収入や働き手の人口が減ってくるのを考えると、20年後、30年後には、減らさなければならぬのではないかなと思う。
- ・意見や考えが少なくでは、物事を検討して決定することは出来ない。増やし過ぎるとまとまらない。妥当である。人数を減らすのであれば、議員としての業務も考えてあげるべき。
- ・8区字×2人で考えると、いない区があると思いますが、色んな方からの意見が出やすいのかなと思う。

### 問3. 問1で1. 3に○印をつけた方の理由

- ・各区から一人で十分だと思う。
- ・人口減少に伴い、議員定数も減らすべきだと思う。
- ・最近過去2回の選挙は、ほぼほぼ選挙がなかったようなもの。他町村のように議員選挙があった方がいい。
- ・若い方の関心が少ないと思う。同じ人が何回も当選（5～6人）し、魅力を感じない。  
（限度3回など設定する。自ずと若い方が立候補してくれそう）
- ・他の町村に比べて議員の給料は安いと聞く。定員を1人減らして、その分給料を上げることによって、若い皆様に議員への興味を持って頂けるのではないかな。
- ・人口減少に伴い、定数を削減し報酬の引き上げ（2人回答）
- ・今までの議員は何等かの仕事をしながら副業的に議員活動をしているように見えるので、議員活動だけに専念してほしい。
- ・建設的な方法を提示する議員がほしい。

### 問4. 女性議員が必要と思いますか

- |            |    |
|------------|----|
| 1. 必要と思う   | 58 |
| 2. 必要と思わない | 0  |
| 3. どちらでもない | 20 |

【考察】「必要と思う」は74%、「どちらでもない」が26%となっている。  
「必要と思わない」は0%で、大方が女性議員は必要との意見である。

問5. 女性や若い世代が議員として参画できる環境づくりについて（複数回答可）

- |                            |    |
|----------------------------|----|
| 1. 女性が政治（議員）活動に参画できる環境でない  | 30 |
| 2. 伊江村はこれまで男性議員だけで、立候補しづらい | 41 |
| 3. 立候補にあたり家族の理解が得られない      | 21 |
| 4. 家庭と政治（議員）活動の両立ができない     | 22 |
| 5. 生活ができる報酬ではない            | 3  |
| 6. 親戚（縁故関係）が少ない            | 7  |
| 7. 政治（議員）活動に興味や魅力がない       | 24 |
| 8. その他                     | 3  |

【考察】本村では、これまで男性議員だけのため立候補しづらい（27%）、女性が議員活動に参画できる環境ではない（20%）、政治に興味や魅力を感じない（16%）、家庭と議員の両立ができない（15%）、家族の理解が得られない（14%）の順となり、「女性が立候補できる仕組みづくりや議員活動に関心・魅力を感じるようなセミナーの開催等」を検討し、女性や若い世代が議員を志す、議会活動に参画しやすい環境づくりの検討・議論が必要である。

問6. 議員のなり手不足について、今後どのような対策が必要か

- |                              |    |
|------------------------------|----|
| 1. 議員活動で生活ができる報酬の見直し         | 26 |
| 2. 女性議員枠（例えば1人）の創設           | 26 |
| 3. 意欲のある若い世代や女性が立候補しやすい環境づくり | 59 |
| 4. その他                       | 4  |

※人口的には半々であるのに、女性議員がいないのはおかしい。

※村婦人会・青年会長を任期期間中、特別枠で議員する

【考察】「若い世代や女性が立候補しやすい環境づくり」は51%、「報酬の見直し」と「女性議員枠の創設」が各々23%となっている。  
「その他」の意見は上記※印のとおりである。

問7. 議員活動に対する意見・要望

- ・議会で方言を使うときは、標準語訳もやってほしい。議会中継で方言は聞きづらい。
- ・報酬が高くなればその分責任の重さを実感し、活動も活発になると思う。
- ・自身の健康第一に、先憂後楽で村民のために日々、頑張ってください。
- ・若い世代や女性の議員が必要だと思う。新しい視点で村政運営ができると思う。

- ・村議の皆さんは結局、親戚が多い方が優位だから立候補するとか、しないとか考えているのか。
- ・女性議員について必要と思うが、実際議員活動をすることが出来るかという点、限られた人（退職した60代の方や自営業で他に協力してくれる人がいる方等）子育て世代や家庭の事をしながらでは、なかなか出来ることではありません。
- ・女性議員の誕生まではいかずとも、年代問わず女性の意見を聞き、違う形でも政治参画できる場があれば良いと思う。
- ・村の予算に対して議員数は妥当か少ないくらいだが、現状を鑑みるとなり手不足で無投票当選の可能性が大きい。一時的に議席を減らし、その分報酬を引き上げるのも手かも。
- ・議員になってほしい方に推薦してはどうでしょうか。1枠は推薦枠として設けてみる。（立候補はしにくいのが推薦されるとやる気が出そう）
- ・男性・女性に限らず、誰にでもできる環境や仕組み作りをしていければ、変わっていくのかなと思う。古い考えから新しい考えへシフトとしていくことも大事だと思う。
- ・議員の皆さんは高齢で、多選が多い。年金をもらって議員報酬もあるから活動ができる。若い方や女性が議員を志すようにしてほしい。区長や有志の方々と人選するのも良いと思う。
- ・現議員の皆さんは他に仕事を掛け持ちしている方がほとんどだと思う。報酬の見直しをしてもいいかと思う。
- ・日々の活動ありがとうございます。若い人との交流等をもって議員活動の内容を知ってもらおう。
- ・一部の声だけではなく様々な声をひろってほしい。女性がもっと平等に評価される環境になってほしい。
- ・今まで年期を重ねた議員の方々も大切です。若い世代や女性の活躍も期待したい。
- ・議員は7名で、そのうち3名は女性議員にするべきです。
- ・各区の活動でも「地域未来部（議員も参加）」等を設置し、既存の行事を見直し、宴会等での予算消化も良いが子や孫の未来に繋がる活動へのシフトチェンジも必要ではないか。
- ・伊江島は、子どもも大人も強制的な活動が多く、疲弊や不満のため魅力を感じない。以前行ったワークショップも、何に生かされているのか分からず、意見を出すことに意義を感じない。
- ・そもそも区長に女性がなりづらい。（行事・会合が多い）両立は困難。
- ・例えば人口減少を防ぐために空き家をイノベーションし、移住者を募集する。仏壇等がある家は、村の補助で寺などに永代供養してもらおう。
- ・高齢者の受入先の施設等を拡充してほしい。
- ・高齢化や人口減少に対応した村づくり先を見据えた現実的な戦略（スマートシティー・Z

C Tの強化など)

※スマートシティとは、国土交通省は「都市が抱える諸問題に対して、I C T等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画・整備・管理・運営）が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区と定義している。

※Z C Tとは、零相変流器（Z C T）は、地絡電流を察知するために設置されるもので、地絡電流とは漏電の事です。

・無駄と思うような建物・建設などが目に余る。